

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査の分析結果

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査

**主な目的** ・義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析・検証し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。  
・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てる。

**調査対象** 小学6年生、中学3年生

**調査内容** **学力調査** 小学校（国語、算数）  
中学校（国語、数学）

**学習状況調査** 児童生徒アンケート・学校アンケート

## 〈大阪府教科別正答率〉

校種	教科	大阪府	全国
小学校	国語	66	67.7
	算数	63	63.4
中学校	国語	57	58.1
	数学	51	52.5

令和6年4月18日に実施された全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。

千早赤阪村の全国学力・学習状況調査の分析結果の概要と課題解決の方法についてお知らせします。

村は小規模校で受験人数が少ないため、本調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえて本調査の結果概要を確認ください。

### 【学力調査（小学校）】

国語・算数とも、最後までしっかりと取り組む姿勢がうかがえました。正答率については、全国と比べるとどちらも上回りました。項目ごとに見ていくと、いくつかの課題が見られました。

- ・【国語】…「話すこと・聞くこと」「書くこと」は、全国の正答率と比べても高い水準でした。しかし、「読むこと」については、物語の描写をもとに登場人物の心情などを捉えたりすることに課題が見られました。登場人物の心情は直接書かれたり、間接的に描写されたりします。授業では「1つ1つの言葉を大切に読み取ること」を大切に学習を進めていきます。
- ・【算数】… 計算問題などのすべての領域で、全国の正答率と比べても高い水準でした。昨年度の課題であった図形の領域についても改善されました。児童が「コツコツと学習に取り組んできたこと」と、「小規模校の強みである1人1人へのきめ細かな指導」の成果が出ました。今後も学習の基盤となる基礎・基本の力をしっかりと定着させる取り組みを一層進めていきます。

### 【学力調査（中学校）】

国語・数学の正答率については、大阪府と比べて同等もしくは少し下回る結果となりました。しかし、今年度も無解答率が低く、どの問題にも粘り強く真面目に取り組む姿勢がうかがえました。

- ・【国語】…「話すこと・聞くこと」「書くこと」については大阪府と比べやや下回る結果となり、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、自分の考えが伝わるように表現の効果を考えて描写したりすることに課題が見られました。今後は、「伝える目的を意識すること」や「表現力を高めるために語彙や表現の技法を増やすこと」を大切に学習を進めていきます。
- ・【数学】… 大阪府および全国の正答率と同等で、図形の領域については高い水準の結果となりました。知識・技能の問題では、ケアレスミスが見られるなど惜しい解答もありました。また、事象を数学的に解釈と説明をする記述式問題には課題が見られたため、「筋道を立てて考え、式やグラフなどを用いて根拠を持って説明すること」を大切に学習を進めていきます。

### 【学習状況調査（児童生徒アンケート）】

児童生徒の傾向として、規則正しい生活を送るとともに、学校生活を友達と協力しながら一生懸命に取り組んでいることがわかりました。しかし、ゲームや動画、SNSのメディア時間については、家の人との使い方などの約束はきちんと守っていますが、それらを使う時間自体は平均と比べると多いことがわかりました。メディア時間を減らし、家での学習、本や新聞を読む機会を増やすことで、学力調査で上がった課題の解決にもつながります。家庭学習の啓発については、各学校と家庭で協力して進めていきます。